

相続税法		講義	教授 田地野 幹雄
科目カテゴリー	会計ファイナンスコースの 専門選択科目	科目ナンバリング	23020201

1. 授業のねらい・概要

人が亡くなった後、その人の財産を相続した人にかかる相続税の基本的な考え方を説明する。また相続税を補完する贈与税についてもその概要を説明する。授業は相続税・贈与税の基礎的知識の修得を目指し、民法上の相続制度を理解したうえで具体的な課税価格および税額の計算へと進んでいく。なお、本科目の履修に当たっては、「租税法概論」を履修しておくことが望ましい。

2. 授業の進め方

テキストの内容に沿った講義形式を基本とするが、授業の進捗状況に応じて各回の授業内容が多少前後することがある。また、理解の定着を図るため、原則として、毎回、授業中に演習問題を解いていく。

3. 授業計画

1. 相続税総説	9. 贈与税の課税原因と課税財産
2. 納税義務者と課税財産の範囲	10. 贈与税の課税価格と税額の計算
3. 相続税額の課税原因と計算手順	11. 相続時精算課税制度
4. 相続税の課税財産	12. 相続税と贈与税の申告・納付
5. 相続税の非課税財産	13. 相続税と贈与税の納税猶予及び免除の特例
6. 相続税の課税価格の計算	14. 財産の評価①（評価の原則・法定評価）
7. 遺産に係る基礎控除額と相続税の総額	15. 財産の評価②（時価評価の取扱い）
8. 各相続人等の相続税額	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業を受講するまでに前回の授業内容を、配付プリントやノートを使って復習しておく。さらに、テキストの予習も行っておく。なお、これらの準備学修には2時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

試験実施の際、解答のポイントおよび出題意図を試験終了直後に説明する。

6. 授業における学修の到達目標

相続税及び贈与税の一連の計算プロセスを理解して、納付税額を算出できる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験の結果（80％）及び授業への取組み姿勢（20％）によって評価する。

8. テキスト・参考文献

テキストとして税務大学校講本「相続税法」を国税庁のホームページからダウンロードして使用するほか、テキストの概要をまとめたレジュメを配付するので、毎回の授業に必ず持参すること。また、適宜、演習問題のプリント等を配付する。

9. 受講上の留意事項

受講者は必ず電卓を持参すること。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、国税庁における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。